

センコーが初のモーダルシフト大賞を受賞 物流連主催のモーダルシフト最優良事業者賞

センコー株式会社は、一般社団法人日本物流団体連合会（以下、物流連）が主催する「モーダルシフト優良事業者 公表・表彰制度」で、2014年度に応募のあった10社19件の中から最優良事業者賞（大賞）に選定され、3月25日に表彰を受けました。

今回当社が受賞したのは鉄道利用による3件のモーダルシフト案件。いずれも新規荷主開拓の営業活動に伴いモーダルシフトを提案することで、輸送の大幅な効率化と環境負荷低減を実現した功績が認められたものです。

物流連では2003年度からモーダルシフトに取り組む優良事業者を公表していましたが、2014年度に「モーダルシフト優良事業者 公表・表彰制度」を新たに創設。第1回目の最優良事業者賞（大賞）を当社が受賞しました。

当社の福田泰久社長は今回の受賞に当たり、「新しい表彰制度になって初めての大賞をいただき、大変光栄です。当社では輸送手段の最適化による環境負荷低減、人手不足の解消、輸送効率向上によるコスト低減等に向けて鉄道、船舶を活用したモーダルシフトを積極的に推進しており、今回、鉄道利用のモーダルシフト3案件を先進的な取り組みとして評価いただきましたこと、嬉しく思います。」と話しています。

<表彰式の様子>

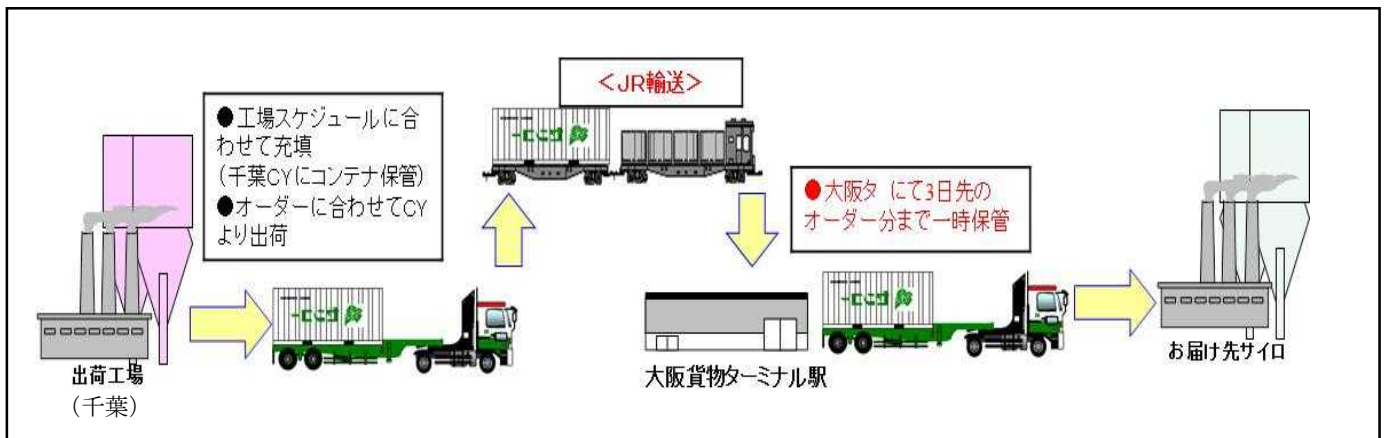


物流連の川合正矩会長(写真左)から表彰を受ける福田泰久社長(写真右)

<今回受賞したモーダルシフト案件の概要>

1. バルクコンテナを用いたケミカル品の輸送

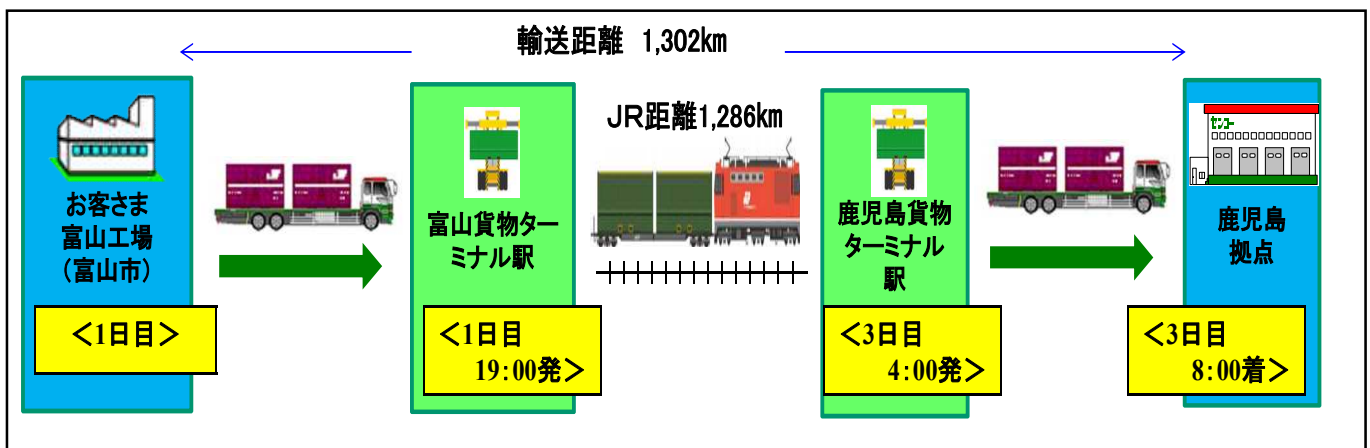
従来セミトレーラーで行っていた「千葉県発関西向けケミカル品（粉体）輸送」を、新たに開発したバルクコンテナを使った鉄道輸送に切り替えることで、環境負荷低減および、輸送コスト低減に寄与。従来と比べ、積載量の増加、配送回数を削減し、10トン車換算で1,600台分の貨物を鉄道にシフトした。



2. 住宅資材の輸送を鉄道に切り替え

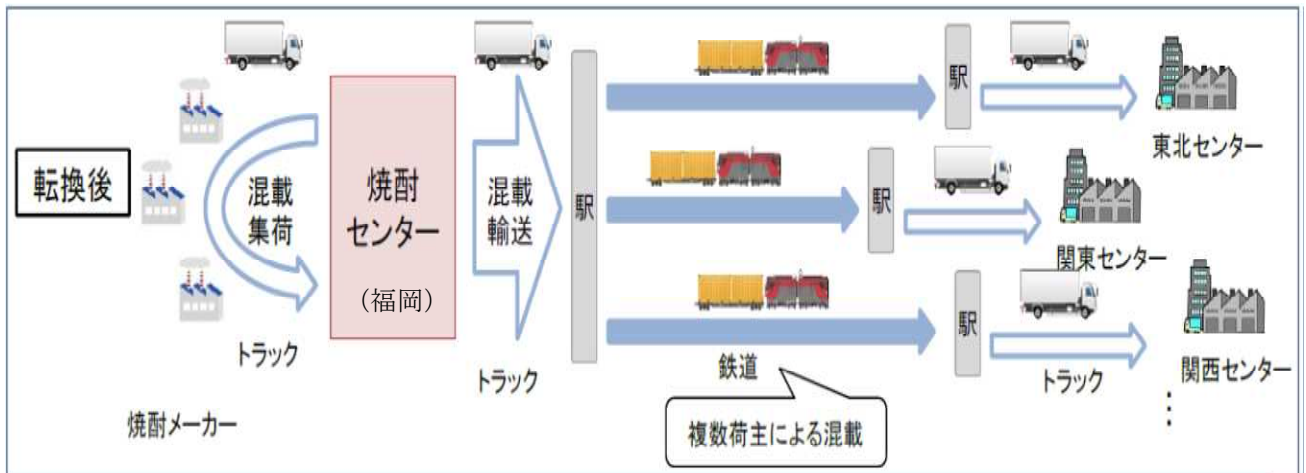
富山から鹿児島島に向けて輸送していた住宅資材の輸送を、12フィートコンテナによる鉄道輸送に切り替え、輸送の効率化を図った。

従来は幹線トラックで富山から福岡に輸送し、福岡で積替えていたが、鉄道コンテナを利用することで富山からの直送が可能となった。



3. 九州の複数酒造メーカーから、全国拠点への商品供給を効率化

従来、各メーカーが独自で行っていた工場から物流センターまでの商品輸送を、各メーカーへの混載集荷を実施することで集約。12フィートコンテナで拠点間を輸送することで、輸送効率の改善を行った。



以上